

今回訪ねた解体工場
株式会社 永田プロダクツ
山形県酒田市高砂官林統 <https://www.nagata-p.co.jp/>

山形県酒田市に本社をかまえる「永田プロダクツ」は、使用済みのクルマを安全に、そして環境に配慮して解体している会社だよ。「Save the Earth」(地球を守ろう)を合言葉に、地球にやさしい社会づくりを目指しているんだ。



Point 3 残った部分を「解体&プレス」

使える部品を取り外したあとに残るのは、クルマの骨組みなどの部分だ。まず「ニブラ」と呼ばれる大きなアームを持った重機を使ってバラバラにしていく。ニブラは車の外側をつかんで切りはなしたり、支えている内側の部品を取り外したりできる。まさに自動車解体のための巨大なハサミ。そして主に鉄でできている部品はプレス機に入れて、ギュッと押しつぶされる。すると、大きなクルマが一瞬で箱のような形に小さくなるんだ。このかたまりはさらに細かくリサイクルされて、再び新しい鉄に生まれ変わるよ。



巨大なニブラはかっこよくて圧巻!



プレス機でつぶされた車体がコチラ!

動画で工場見学!

もっと詳しく知りたい人は、下の二次元コードから動画をチェック! 実際の作業のようすを映像で見よう!



Point 2 国内外で大人気! 「リサイクル部品」

事前処理を終えたクルマからは、ドアやエンジンなどの部品が一つひとつ外されていく。まだ使えるものは「リサイクル部品」として販売され、別のクルマで再び活躍するんだ。

リサイクル部品のうち、ドアなど外側の部品は見た目の傷やへこみをチェックして、そのまま使えるかどうかを判断する。エンジンのような内部の部品は、実際にテストを行って安全に使えることを確認してから出荷されるんだ。

永田プロダクツでは、リサイクル部品をできるだけ国内で販売することを大切にしているんだって。

でも、日本のクルマは海外でも人気が高いから、特に少し古い車の部品は世界の国々にも輸出されて、多くのクルマを走らせる力になっているんだ。

一つひとつキレイに手入れをして出荷しているよ!



動作や傷の有無をしっかりとチェック!



Point 1 安全のための「事前処理」

使い終わったクルマの中には、そのままにしておいては危険なものが入っているよ。だから解体工場では、まず「事前処理」と呼ばれる作業をして、安全に解体できる状態にするんだ。

1 燃料の抜き取り

クルマを走らせるための燃料であるガソリンや軽油がタンクに残っていることがあるんだ。もしそのまま解体を始めたらかちよとした火花でも火事につながってしまうよ。だから、まずはタンクの下に穴をあけて燃料を抜き取るんだ。抜き取った燃料はフィルターで何度もこして、工場の社用車の燃料として再利用されているんだって。

2 エアバッグの処理

エアバッグは事故のときにふくらんで、乗っている人を守ってくれる大切な安全装置でも、処理をしないまま解体を進めると、突然開いて作業員さんがけがをしてしまう危険があるんだ。そこで工場では、シートをかぶせて周囲に人がいないことを確認し、笛で合図してから電気を流すよ。「ドーン!」と大きな音を立ててふくらみ、展開させて処理するんだ。

3 フロンガスの回収

クルマのエアコンにはフロンガスという冷やすためのガスが入っていて、空気中に出てしまうと、オゾン層を壊したり地球を温める原因になってしまう。だから解体工場では、きちんとフロンガスを回収して、別の工場に送って害のない物質にするよ。この処理には、クルマを使った人が支払った「リサイクル料金」が使われているんだ。

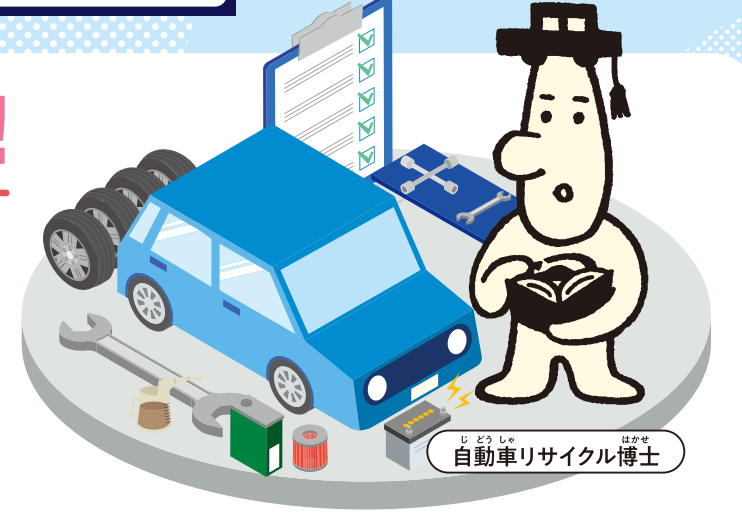
地域の人々に役立っているんだよ!

永田プロダクツでは、毎年およそ600人もの見学者を受け入れているよ。見学に来るのは小学生の社会科見学だけでなく、地域のおじいさんやおばあさん、学生など幅広い人たち。こうした取り組みは、地域のみんなにリサイクルの大切さを知ってもらえるだけでなく、働いている社員にとっても大きな励みになっているよ。自分の仕事を見てもらえることで「誇り」を持てるようになり、ますますやりがいを感じるんだって。

お家で工場見学! クルマのリサイクルとSDGs vol.1 解体工場編

役目を終えたクルマを部品や素材に分解する工程を紹介するよ!

使い終わってもまだまだ使える!



自動車リサイクル博士

クルマは、みんなの生活をさまざまな面で支えてくれているよね。人や荷物を運ぶのはもちろん、病気やけがの人を病院に運んだり、災害のときには人命救助に活躍することもある。そんな大切な存在であるクルマ、実は「使い終わった後も社会の役に立って」知ってた? そのほとんどがリサイクルされて、鉄やアルミ、プラスチックなどの資源に生まれ変わるんだ。つまり、クルマは走っているときだけでなく、役目を終えたあとまで「地球にやさしい乗り物」といえるんだ。

今回紹介するのは、役目を終えたクルマが最初にやってくる場所「解体工場」。ここではクルマをただ壊すのではなく、安全に作業を進めながら、まだ使える部品や資源を取り出しているんだ。さあ、さっそく工場の中を見に行こう!

